

2022年 アフリカカイゼン 年次会合

Africa Kaizen Annual Conference 2022

【開催日】 2022年10月4日(火)～5日(水)

【主催】 国際協力機構 (JICA)

アフリカ連合開発庁 - アフリカ開発のための
新パートナーシップ計画調整庁 (AUDA-NEPAD)

日本の「KAIZEN」をアフリカへ

2022年10月4日～5日に、カメルーンにてアフリカカイゼン年次会合（Africa Kaizen Annual Conference : AKAC）が開催されました。同会合は2016年から開催されていますが、COVID-19の影響によるオンライン実施等を経て、2022年は初となる「各関係者の現地渡航+オンライン」のハイブリッド形式での開催となりました。

カメルーン共和国 (Republic of Cameroon)

- 首都：ヤウンデ
- 面積：475,440平方キロメートル（日本の約1.3倍）
- 人口：2,654万人（2020年世界銀行）
- 言語：フランス語・英語（共に公用語）
その他各部族後
- 主要産業：
農業（カカオ、綿花）
鉱工業（石油、アルミニウム）

（参照：外務省 カメルーン共和国基礎データ）



アフリカカイゼン年次会合

カメルーン会場には、主催者である国際協力機構 (JICA) およびアフリカ連合開発庁-アフリカ開発のための新パートナーシップ計画調整庁 (AUDA-NEPAD)、カメルーン政府・研究機関・民間企業に加え、アフリカ各国カイゼン機関や国際機関の関係者などが各日約**150名**参加し、活発な意見交換が行われました。



2日間の会合を通して、Africa Kaizen Initiative (AKI) の進捗報告、カメルーンモデルの共有、カイゼン優良事例を表彰するカイゼンアワード等の他、カメルーン企業のブース出展や企業訪問も行われ、数年ぶりの対面形式での実施を通して参加者同士の交流がより深まった会合となりました。

また、会合の様子は会場からリアルタイムでオンライン配信され、日本やアフリカ各国のみならず、アジア諸国、欧米諸国等、世界中から多くの方々にご参加いただきました。

カイゼンに取り組む企業の表彰

年次会合のプログラムの一部として、カイゼンに取り組む企業を表彰するアフリカカイゼンアワード (Africa Kaizen Award : AKA) 授賞式を行いました。2022年は9カ国18企業からの応募があり、紙面審査とオンラインプレゼンテーション審査を経て、4社（大企業および中小企業部門から各2社）が優良企業として表彰されました。



- 大企業部門 (Outstanding)
PHOENIX MECANO ELCOM (チュニジア)
- 大企業部門 (Excellent)
Archemics Ltd (モーリシャス)
- 中小企業部門 (Outstanding)
MAKO INDUSTRIES SA (カメルーン)
- 中小企業部門 (Excellent)
Kega Fashions Ltd (ケニア)

年次会合開催国のカメルーンの企業が受賞したことにより、会場は祝福と熱気に包まれ、大変賑やかな授賞式となりました。

日本生産性本部のしごと ①

日本生産性本部 (JPC) の、アフリカカイゼン年次会合での役割についてご紹介します。JPC国際協力部では、2019年より、JICA受託「アフリカ地域グローバル・カイゼン・ネットワーク推進にかかる情報収集・確認調査」の業務の一つとして、年次会合の企画・運営支援を行っています。



■ カイゼンアワードの企画・運営支援

カイゼンアワード審査委員会の運営、候補企業等とのやり取り、プレゼンテーション審査の実施等を通じた受賞企業選定支援を行いました。

■ 年次会合実施に係る企画・運営支援

年次会合の実施に向けて、主催者およびカメルーン側関係者との会議実施、プログラムの作成支援、招待者の渡航管理、会場運営管理等、カイゼンアワード授賞式の運営・司会進行等、事務局として幅広い業務を担当しました。

日本生産性本部のしごと ②

「アフリカ地域グローバル・カイゼン・ネットワーク推進にかかる情報収集・確認調査」の業務のうち、Africa Kaizen Initiative (AKI) に関連する業務をご紹介します。

(AKIとは、2016年第6回アフリカ開発会議 (TICAD VI) におけるカイゼン・イニシアティブのアフリカ全体への推進表明を経て、JICAとAUDA-NEPADが2017年に開始した10年間のイニシアティブ)

AKIの一部として、5つのワーキンググループ (WG) の活動の運営管理を行っています。

- WG I : 認証システムの構築
- WG II : コンサルタント育成プログラムの作成
- WG III : KPIの設定
- WG IV : 年次会合の組織化
- WG V : センター機能の強化

特に、5つのWGのうちWG I ~ IIIについては、JPC職員が中心となり専門家として会議の企画およびパイロット国での指導等を行っています。

また、これら5つのWGの活動内容は、年次会合でも進捗報告が行われました。

年次会合資料について



JPC は、同事業を通じ引き続きアフリカでのカイゼンの普及・展開を支援していきます。なお、JICAウェブサイトでは、2022年アフリカカイゼン年次会合の掲載ページにて、プレゼンテーション資料をご参照になれます。

- 国際協力機構 (JICA)ウェブサイト (トップページ)

日本語：<http://www.jica.go.jp>

英語：<http://www.jica.go.jp/english/index.html>

- 国際協力機構 (JICA)ウェブサイト (関連掲載記事)

2022年10月4日～5日：カイゼンがいかにアフリカ大陸自由貿易圏 (AfCFTA) に資するかを議論。「アフリカ カイゼン年次会合」を開催

https://www.jica.go.jp/information/seminar/2022/20221005_02.html